

試験ブループリント

Nutanix認定プロフェッショナル ネットワーク&セキュリティ (NCP-NS) 7.5試験



目次

作成者	4
寄稿者	4
1. 4	
1.1 試験の目的	5
1.2 問題数	5
1.3 受験料	5
1.4 合格スコア	5
1.5 目標と試験問題の関連性	5
1.6 言語	5
1.7 制限時間	5
1.8 試験のスケジューリングおよび受験	6
1.9 認定トラック	6
1.10 再受験ポリシー	6
1.11 試験のセキュリティ	6
1.12 再認定	7
1.13 認定のメリット	7
2. 対象者	7
3. NCP-NS 7.5試験で対象となる目標	8
3.1 はじめに	8
3.2 目標	8
セクション1 - Flow Virtual Networkingを構成する	8
セクション2 - Flow Network Securityを構成する	10
セクション3 - Flow Virtual Networkingのトラブルシューティングを行う	13
セクション4 - Flow Network Securityのトラブルシューティングを行う	14
セクション5 - Flow環境のデプロイとアップグレードを行う	16
4. NCP-NS 7.5トレーニングの推奨事項	19
4.1 コースの推奨事項	19
5. リソース	21
5.1 Nutanix Community Edition	21
5.2 テストドライブ	21
5.3 Nutanix Community	21
5.4 ネットワーク&セキュリティに関する追加リソース	21

作成者

Jeff Hall マネージャー - 技術認定開発

寄稿者

Amin Aflatoonian シニアプロダクトマネージャー

Amit Gupta シニアプロダクトマネージャー

Aniket Daptari、プロダクトマネジメントシニアディレクター

Aritro Basu シニアスタッフコンサルティングアーキテクト

Ashish Sharma サービスプロバイダーソリューションアーキテクト

Asir Sikdar スタッフエンジニア

Danny Reppe アドバイザリーソリューションアーキテクト

Eric Walters シニアテクニカルマーケティングエンジニア - NCI&セキュリティ

Frank Shen シニアプロダクトマネージャー

Harikrishna Reddy Y シニアテクニカルスタッフ

Jason Burns ディレクター - NCI TMM

Jeroen Tielen Nutanixトレーナー&Citrix Guru

Komal Bhat アソシエイトレジデントコンサルタント

Krishna Chakra Karanam プリンシパルプロダクトマネージャー

Maroane Boutayeb シニアスタッフカスタマーエクスペリエンスマネージャー

Pavan Kumar テクニカルスタッフ4メンバー (MTS4)

Rushabh Jain コンサルタント

Saloni Vanit Pipariya テクニカルスタッフ2メンバー (MTS2)

Sam Ghardashem プリンシパルプロダクトマネージャー

Stephen Martin シニアスタッフコンサルタント

Steve Eyler シニアソリューションアーキテクト

Steve Loh アドバイザリーソリューションアーキテクト

Steven Murray システムエンジニア

Vimal Dharmavarapu プリンシパルプロダクトマネージャー

免責事項:

Nutanix認定プロフェッショナル - ネットワーク&セキュリティ (NCP-NS) 7.5試験ブループリントガイドは、NCP-NS 6認定資格を取得するために習得する必要がある目標の概要について説明します。本ガイドは、Nutanixが受験者のNCP-NS 6認定資格の取得を保証するものではありません。本ガイドの情報はすべて、Nutanixの単独の裁量により、随時変更される可能性があります。

1. 試験

1.1 試験の目的

Nutanix認定プロフェッショナル - ネットワーク&セキュリティ (NCP-NS) 7.5試験は、ネットワーク仮想化とネットワークセキュリティのデプロイと、管理、およびトラブルシューティングをする受験者の能力を評価します。これらのスキルと能力を習得していることを証明できます。

1.2 問題数

NCP-NS 7.5 試験は、75問の選択問題（単一回答、複数回答）で構成されています。

1.3 受験料

NCP-NS 7.5試験の受験料は、200米ドルです。

1.4 合格スコア

この試験の合格スコアは3000です。スケールドスコア方式(換算方式の採点法)が用いられます。スコアのスケールは1000~6000です。スケールドスコア(換算スコア)は、試験のバージョンごとの試験問題の数と種類など、さまざまな要素を考慮した数式を使用して算出されます。

問題の数や種類は、同じ試験でもバージョンによって異なる場合があります。そのため、受けた試験のバージョンに基づいて、スケールドスコア(換算スコア)で全員に公平なスコアを提示します。

1.5 目標と試験問題の関連性

目標は、試験が何を評価することを目的としているかを要約したものです。目標は、Nutanixのテクノロジーを利用したエンドユーザコンピューティング環境のデプロイと、監視、管理、トラブルシューティング、および維持の業務に関わる特定タスクに基づいて、試験開発者と対象分野の専門家によって策定されます。

最初の策定プロセスが完了すると、これらの目標は、外部の実務担当者のグループを用いて検証されます。最終的に、各目標に対する問題数が決定されます。目標ごとの問題数は、職務のタスクの重要度に直結しています。

1.6 言語

試験は英語および日本語で受験できます。

1.7 制限時間

試験の制限時間は120分です。

1.8 試験のスケジュールリングおよび受験

この試験は、リモートの試験監督官によるリモートプロクタリング方式、または所定のテストセンターで受験する対面方式で実施されます。

リモートプロクタリング方式を選択する場合、試験に申し込み、有効な身分証明書を提示すると、各自の受験場所でウェブブラウザを使用して受験する方法について案内が送付されます。試験はリモートで監督されるため、ロックダウンされ、監視された、安全な受験環境が提供されます。

対面の試験を選択する場合、お近くのテストセンターを選択できます。試験当日は、政府機関発行の有効なIDを持参し、試験開始時間の15分前までにテストセンターにお越しください。

1.9 認定トラック

NCP-NS 7.5試験は、Nutanixネットワーク&セキュリティトラックのコアコンポーネントです。この試験に合格すると、NCP-NS 6の認定資格を取得することになります。

認定資格を取得するには、試験で合格スコアに達する必要があります。コースの受講は必須ではありませんが、Nutanixは、試験の目標を網羅するトレーニングを実施しています。推奨されるトレーニングコースの詳細は、[セクション4](#)をご覧ください。

1.10 再受験ポリシー

初回の受験で不合格となった場合、2回再受験できます。再受験まで7日間の待機期間が設けられています。初回の受験と同様に、試験ごとに受験料のお支払いが必要になります。再受験まで十分に準備の時間を確保し、最も合格を狙える状態で受験することをお勧めします。

注：3回受験すると、60日間受験できなくなります。その後、university@nutanix.com宛てにメールで連絡し、受験回数のリセットを要請することができます。この間に、本ガイドと関連資料を十分に確認したり、推奨されるトレーニングを受講したりすることをお勧めします。

1.11 試験のセキュリティ

Nutanixは、試験のセキュリティポリシーに違反する受験者の認定を拒否する権利を留保します。試験教材を複製および再配布する、試験中に各種教材を使用する、試験問題を撮影しようと試みる、虚偽の身分証明書を使用して受験するといった行為が違反に該当します。受験者の身分証明書は、試験申し込みプロセスの一環として記録され、有効性が確認されなければ、受験は認められません。

1.12 再認定

Nutanix認定プロフェッショナル - ネットワーク&セキュリティ7.5試験に合格し、NCP-NS 6認定資格を取得すると、資格は3年間有効です。

認定のステータスを維持するには、既存の認定を更新するか、別の認定トラック内で同等のNCPレベルの試験に合格する、またはNCM-MCI試験に合格する必要があります。

1.13 認定のメリット

- ソーシャルメディアで共有可能なCredlyのデジタルバッジ
- シャツやマグカップなどを購入可能なNutanixストア (<http://store.nutanix.com>) のCertificationショップへのアクセス
- 将来の試験の開発にSMEとして参加する機会
- Nutanix .NEXTの参加割引

2. 対象者

NCP-NS 7.5試験およびNCP-NS 6認定資格は、ネットワークまたはセキュリティに関する経験が約2年あり、Nutanix Flowを使用してきた経験が少なくとも6ヶ月ある方を受験対象者として想定しています。

Nutanix Flowを使用したネットワーク仮想化とネットワークセキュリティのデプロイと、管理、およびトラブルシューティングの経験を有するネットワークエンジニアや、ネットワーク管理者、ネットワークアーキテクト、セキュリティ責任者、またはセキュリティ管理者などが一般的な合格者です。

Nutanixネットワーク&セキュリティ (NNSA) コースなどのトレーニングコースを受講すれば、合格できる可能性は高くなります。

3. NCP-NS 7.5試験で対象となる目標

3.1 はじめに

受験者は、NCP-NS 7.5試験を受ける前に、Nutanix Flowを使用したネットワーク仮想化とネットワークセキュリティのデプロイと、管理、およびトラブルシューティングをするために必要な知識とスキルを身につけておくことが推奨されます。また、受験前に、[セクション4](#)に記載されているトレーニングコースを完了することも推奨されます。

NCP-NS 6の認定資格では、受験者は以下のソフトウェアバージョンでテストを受けます。

- Flow Virtual Networking : バージョン6.0
- Flow Network Security : バージョン5.2
- Prism Central : バージョン7.3

3.2 目標

受験に先立って、受験者は以下の各目標を理解しておかなければなりません。各目標、受験者が使用経験を積んでおくべき関連ツール、目標と関連のある情報が記載された参考文書が以下に挙げられています。なお、一部の文書には、サポートポータルからアクセスする必要があります。サポートポータルで使用するアカウントの作成については、[こちら](#)をご覧ください。

目標はすべて、以下に挙げられていない他の製品文書でも言及されている場合があります。受験者は、関連するすべての製品文書を十分に把握しておくか、同等のスキルを身につけておく必要があります。

セクション1 - Flow Virtual Networkingを構成する

目標1.1 : VPCおよびオーバーレイネットワークを作成する

知識

- テナントVPCとTransit VPCのどちらが必要かを判断する
- VPCにおけるERPの目的または用途を認識する
- VPCゲートウェイノードを特定する
- ルーティング型CIDRとプライベートCIDRを関連付ける

参考資料

- [仮想プライベートクラウドの作成](#)
- [ネットワークの種類](#)
- [仮想プライベートクラウドの管理](#)
- [仮想プライベートネットワークの接続](#)

- [Flow Virtual Networkingのアーキテクチャ](#)
- [仮想マシンへのサブネットのアタッチ](#)
- [ポリシーの作成](#)
- [重要なコンセプト](#)

目標1.2 : VPC外部ネットワークの作成と管理を行う

知識

- [重複したERPが必要な場合を判断する](#)
- [スケールアウトVPCゲートウェイノードをVPCに関連付ける](#)
- [デフォルトルートを設定すべき状況を判断する](#)
- [VPC作成時に設定すべきルートを判断する](#)
- [特定のルーターIP/SNAT IPをVPCに割り当てる](#)
- [VPC用の外部ネットワークを変更する](#)
- [オーバーレイ外部ネットワークを作成する](#)
- [VPCをTransit VPCのオーバーレイ外部ネットワークに関連付ける](#)
- [VPCをNATまたはNo-NATネットワークに接続すべき状況を判断する](#)

参考資料

- [外部ルーティング可能プレフィックスとIPアドレス](#)
- [Flow Virtual Networkingの要件と制限](#)
- [仮想プライベートクラウドの作成](#)
- [ネットワークの種類](#)
- [仮想プライベートクラウドのサマリービュー](#)
- [Flow Virtual NetworkingのユーザーVMの接続性](#)
- [レイヤ2ネットワークの延伸](#)
- [NATとNo-NATゲートウェイのスケールアウト](#)
- [スタティックルートの作成](#)
- [VMとネットワークのマイグレーション](#)
- [ポリシーの作成](#)

- [接続の管理](#)

目標1.3：接続オプションを構成する

知識

- VMのターゲットグループを持つネットワークロードバランサを作成する
- アドバタイズされたルートや受信ルートを含むBGPピアリングセッションのステータスを分析する
- 検査のためにセキュリティプライアンス経由でトラフィックをリダイレクトするポリシーベースルーティング (PBR) ポリシーを定義する
- NAT外部接続を使用する際に外部アクセス用のフローティングIPアドレスをワークロードに割り当てる
- BGPネイバー内にレジリエンスを作成する

参考資料

- [フローティングIP](#)
- [Flow Virtual NetworkingのユーザーVMの接続性](#)
- [オーバーレイ外部NATサブネットのユーザーVPCへのアタッチ](#)
- [仮想プライベートネットワークの接続](#)
- [BGPセッションの詳細ビュー](#)
- [リダイレクトのためのポリシーベースルーティング \(PBR\)](#)
- [ボーダーゲートウェイプロトコル \(BGP\) のセッション](#)

セクション2 - Flow Network Securityを構成する

目標2.1：アプリケーションフローの分析と文書化を行う

知識

- ポリシーの作成に監視モードが適切な状況を判断する
- 外部ソースへログを送信して分析できるようにするためにSyslogを構成する/ポリシーログを有効化する
- フローの可視化/キャプチャしたトラフィックを使用してポリシーのルールセットを定義および/または更新する
- 共有サービスポリシーの目的とユースケースを認識する

参考資料

- [セキュリティポリシーの強制モード](#)
- [Syslogを使用したFlow Network Securityのログと監査](#)
- [アプリケーションポリシーの適用](#)
- [Flow Network Securityのアプリケーションポリシー](#)
- [ポリシーの利用状況と可視化](#)

目標2.2：セキュリティポリシーの作成と構成を行う

知識

- ビジネスニーズに基づいて適切なポリシータイプを判断する
- 2つ以上のエンティティ間に分離ポリシーを構成する
- 適切な保護対象エンティティでアプリケーションポリシーを構成する
- Active DirectoryのグループIDルックアップを構成する
- VDIポリシーを構成する
- 隔離機能のユースケースを説明する

参考資料

- [Flow Network Securityでのセキュリティポリシーの作成](#)
- [セキュリティポリシーのモデル](#)
- [アプリケーションポリシーの作成](#)
- [アプリケーションセキュリティポリシーの作成](#)
- [共有サービスポリシー](#)
- [隔離環境のポリシー](#)
- [隔離環境のポリシーの作成](#)
- [隔離環境のポリシーの監視（ネットワークフローの可視化）](#)
- [セキュリティポリシーのクローン](#)
- [VDIポリシーの構成](#)
- [サービス挿入](#)
- [サブネットの分類を使用したvNIC固有のポリシー](#)
- [層内トラフィックルールの構成](#)

- [Multi-Prism Centralのディザスタリカバリに対するFNS Next-Genのサポート](#)
- [エンティティグループ](#)

目標2.3 : ポリシーのライフサイクルとモードを管理する

知識

- 監視モードでポリシーを作成し、検出されたトラフィックを特定する
- 監視モードで現在適用されているポリシーを強制する
- ポリシーのクローンを作成し、別のスコープに適用する
- 監視ポリシーを適用することで影響を受ける可能性のあるエンティティの数を特定する
- 様々なポリシーのライフサイクルモードについて説明する

参考資料

- [セキュリティポリシーのクローン](#)
- [セキュリティポリシーのモデル](#)
- [セキュリティポリシーの強制モード](#)
- [アプリケーションポリシーの構成](#)
- [ポリシーの種類](#)
- [ネットワーク構成の最大値](#)
- [ダークサイトのライフサイクルモード](#)

セクション3 - Flow Virtual Networkingのトラブルシューティングを行う

目標3.1 : 接続に関する問題のトラブルシューティングを行う

知識

- VPC内のVMがインターネットに接続できない原因を特定する
- 同じVPC内の2つのVMが相互に通信できない原因を特定する
- VPC内のVMが外部ネットワークにアクセスできない原因を特定する
- VPCから想定されるルートをBGPネイバーが受信できない原因を特定する
- ネットワークゲートウェイのステータスに関する問題の特定と解決を行う

- ゲートウェイVM（VTEP、VPN、またはBGP）が不健全かどうかを判断する
- サブネット延伸がアクティブで健全な状態であることを確認する

参考資料

- [トラフィックミラーリングセッションの作成](#)
- [サービス挿入](#)
- [VTEPを用いたアベイラビリティゾーン間のレイヤー2サブネットの延伸](#)
- [L2延伸サブネットにおけるPBRベースのトロンボーン](#)
- [隔離環境のポリシー](#)
- [Flow Virtual Networkingの要件と制限](#)
- [Flow Virtual Networkingのポートとプロトコル](#)

目標3.2：仮想ネットワーキングの問題に対処するためにアラートとログを分析する

知識

- セッションログを使用してBGPの状態を診断する
- どのユーザーがいつ特定の変更を行ったかを特定する
- ネットワーク接続の問題を特定するためにIPFIXエクスポートを分析する
- アラートを解釈し、是正措置を実行する

参考資料

- [アプリケーションセキュリティポリシーの構成](#)
- [トラブルシューティングのヒント](#)
- [Prism Centralのアラートおよびイベント参照ガイド](#)

目標3.3：インフラストラクチャシステムのコンポーネントの健全性を分析する

知識

- ネットワークコントローラーの健全性を確認する方法を説明する
- ネットワークコントローラーが健全でない場合に実行できる（または実行できない）アクションを認識する
- ネットワークコントローラーとFlow Network Securityのアラートを解釈する

参考資料

- [ネットワークコントローラーの健全性チェックの属性](#)
- [ネットワークコントローラーの健全性チェックの失敗理由](#)

- [外部ルーティング可能プレフィックスとIPアドレス](#)
- [Prism Elementのアラート/健全性チェック](#)

セクション4 - Flow Network Securityのトラブルシューティングを行う

目標4.1：望ましくないネットワーク通信のトラブルシューティングを行う

知識

- 望ましいトラフィックがセキュリティポリシーによって阻止されているかどうかを判断する
- ポリシーコンポーネントのVMメンバーシップを検証する
- 許可されたトラフィックと拒否されたトラフィックを特定するためにセキュリティポリシーのヒットログを評価する
- ポリシーの優先順位の競合を特定する（層内ルールとインバウンド/アウトバウンドの優先順位付けを含む）
- サービス挿入を使用した際のパケットロスの根本原因を特定する
- ルートは存在するがNorth/Southトラフィックが通らない問題（MTU）のトラブルシューティングを行う

参考資料

- [Flow Network SecurityにおけるVMトラフィックの考慮事項](#)
- [アプリケーションポリシーの構成](#)
- [サービス挿入](#)
- [Syslogを使用したFlow Network Securityのログと監査](#)
- [セキュリティポリシーの管理](#)

目標4.2：Flow Network Securityの問題に対処するためにログを分析する

知識

- FNSセキュリティヒットログを外部Syslogサーバーにパイプする方法を説明する
- NCCの健全性チェックを通じてcontrackテーブルの状態を判断する
- FNSの問題を診断するためにFNS監査ログを解釈する

参考資料

- [Syslogのモジュール](#)
- [Prism Centralのログ](#)
- [Nutanixクラスタにおける失敗への対処](#)

目標4.3：ユーザグループのマッピングに関連するIDベースのポリシー失敗のトラブルシューティングを行う

知識

- ADが適切に構成されていることを確認する（URLや、サービスアカウント、認証情報など）
- IDベースのセキュリティを有効化し、参照されるADグループを構成/管理する
- ログイン時の動的カテゴリ割り当てをバリデーションする
- グループメンバーシップがポリシーに適用されていることをバリデーションする

参考資料

- [VDIポリシーの作成](#)
- [Prism Centralを使用したセキュリティ管理](#)
- [ロールのマッピングの構成](#)

セクション5 - Flow環境のデプロイとアップグレードを行う

目標5.1：Flow Network Security用のクラスタを準備する

知識

- Prism CentralからFNSを有効化する
- カテゴリを作成し、VMに関連付ける
- 有効化する前にバージョンがサポートされていることと最新であることを確認する
- ノードとPrism Centralに必要なリソースを特定する

参考資料

- [Flow Network Security製品の世代とリリースバージョン](#)
- [Flow Virtual Networkingの構成](#)
- [Flow Network Securityのインストール方法](#)

- [ファームウェアとソフトウェアのLCMバンドルのWebサーバーへの配置](#)
- [セキュリティポリシーのモデル](#)

目標5.2 : Flow Virtual Networking用のクラスタを準備する

知識

- ネットワークコントローラーが有効化されていることと正しいバージョンであることを確認する
- FVNを有効化する前にすべてのクラスタに互換性があることを確認する
- 仮想スイッチのMTUを設定する
- Prism Centralのデプロイをするために十分なリソースがあることを確認する

参考資料

- [Flow Virtual Networkingの概要](#)
- [Flow Virtual Networkingの要件と制限](#)
- [Flow Virtual Networkingの構成](#)
- [VTEPを用いたアベイラビリティゾーン間のレイヤー2サブネットの延伸](#)
- [Prism Centralのインフラストラクチャの概要](#)

目標5.3 : アップグレードの順序とアップグレードパスを決定する

知識

- 互換性のないクラスタを特定して対策を講じる
- ネットワークコントローラーを更新できるかどうかを判断し、依存関係を特定する
- FNSのバージョンがアップグレード可能かどうかを判断し、依存関係を特定する

参考資料

- [ネットワークコントローラーのアップグレード](#)
- [ネットワークゲートウェイの更新](#)
- [Nutanix環境におけるPrism Centralのアップグレード](#)
- [クラスタの拡張](#)

目標5.4 : 仮想スイッチとMTUを構成する

知識

- サブネット延伸やその他の機能を使用できるようにMTUのサイズを変更する
- East-WestトラフィックとNorth-Southトラフィックを分離する
- UVMと管理および/またはレプリケーションのトラフィックを分離する

参考資料

- [サービス挿入](#)
- [仮想スイッチの制限](#)
- [Flow Virtual Networkingの要件と制限](#)
- [VPN構成の前提条件](#)
- [AHVにおけるUVMのJumbo MTUの有効化](#)

目標5.5 : ユーザーロールの構成と管理を行う

知識

- VPCを作成できるユーザーロールとできないユーザーロールを認識する
- カスタムロールを作成する
- カスタム管理者ロールを特定のVPCに限定する
- 指定されたユーザーに対して適切なシステム定義のFNS RBACロールを判断する
- FNS用の認可ポリシーを作成する
- 詳細な権限を持つFNS RBACカスタムロールを作成する
- システムで定義されたFNS RBACロール用に事前設定されている権限を判断する

参考資料

- [Flow Network Securityのロールと権限](#)
- [Flow Virtual Networkingにおけるユーザーアクセス制御 \(RBAC\)](#)
- [組み込みロール一覧](#)
- [ロールのマッピングの構成](#)
- [カスタムロールの管理](#)

4. NCP-NS 7.5 トレーニングの推奨事項

4.1 コースの推奨事項

Nutanixは、試験でテストされる目標に関するトレーニングを実施するコースを提供しています。配信方法、価格など、本コースの詳細は、nutanix.com/trainingをご覧ください。

企業を取り巻く脅威に関する状況は、絶え間ない高速の攻撃活動の時代へと進化しました。現在、組織は週あたりで約1,900件のサイバー攻撃に直面しており、これは現代のビジネス上のレジリエンスを構築するために、熟練したネットワーク&セキュリティ人材がいかに重要であることを示しています。加えて、サイバー犯罪は2025年までに年間10.5兆ドルの損害を企業にもたらすと推定されており、レジリエンスを持つネットワークアーキテクチャを設計・保護・最適化できる専門家は、IT分野でも最も成長が速い領域の中心に位置します。

ネットワーク&セキュリティの専門職にとって、こういったトレンドはキャリアを決定づけるチャンスです。データ侵害の世界平均コストが444万ドルに達する中、企業はセグメンテーションと、ゼロトラスト戦略、および高度なネットワークガバナンスを実装できるアーキテクトとエンジニアをますます求めています。

競争力を維持するには、専門家は今日の脅威を理解するだけでなく、そういった脅威に対抗するために企業が採用しているプラットフォームやテクノロジーをマスターする必要があります。その2つがNutanix Flow Virtual NetworkingとNutanix Flow Network Securityであり、ハイブリッド環境およびマルチクラウド環境においてネットワークの複雑性を低減し、セキュリティポスチャを強化します。

本コースは、Nutanix Flowにおける以下のような作業を成功させるために必要なスキルと知識の習得を支援します：

- 環境を準備し、Nutanix Flowをデプロイすること。
- 仮想プライベートクラウドや、ボーダーゲートウェイプロトコル（BGP）セッション、セキュリティポリシーといった様々なFlowの構成要素を構成すること。
- ロールベースアクセス制御（RBAC）の構成と管理を行うこと。
- Flowで一般的な問題の特定と調査を行うこと。

本コースは、オンラインで受講できます。またはインストラクターによるトレーニングを受講できます。スケジュールや申し込み方法などの詳しい情報は、www.nutanix.com/universityをご覧ください。

このコースで提供される内容は、NCP-NS 7.5試験に出題される目標の大部分（約80%）をカバーしており、これらの目標をしっかりと理解したい場合に推奨されます。Nutanix環境に更に触れておくことが強く推奨されていることにご注意ください。

5. リソース

5.1 Nutanix Community Edition

Nutanix Community Editionは、Nutanixクラウドプラットフォームをデプロイできる無料の製品です。試験の準備をするために、ソフトウェアをダウンロードし、ご自身の環境を構築するには、[こちら](#)をクリックしてください。

5.2 テストドライブ

[こちら](#)をクリックして、Nutanix Community Editionを活用するハイパーコンバージドテストドライブを2時間使用することもできます。

5.3 Nutanix Community

Nutanix Communityで世界中のクラウドビルダーとつながり、業界のITプロフェッショナルから学んで、経験を共有しましょう。Nutanix Communityに、Nutanix認定資格専用のページがあります。[こちら](#)からアクセスできます。

5.4 ネットワーク&セキュリティに関する追加リソース

その他のネットワーク&セキュリティに関する豊富なリソースは[こちら](#)からご覧いただけます。

NUTANIX

+1 (855) 688-2649 | certification@nutanix.com | www.nutanix.com

©2026 Nutanix, Inc. All rights reserved. Nutanix、Nutanixのロゴ、および本書に記載されているすべての製品名とサービス名は、米国およびその他の国におけるNutanix, Inc. の登録商標または商標です。

本書で言及されているその他すべてのブランド名は、識別のみを目的としており、各所有者の商標である可能性があります。